



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月4日 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高木 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	19,899	3.3	681	9.6	585	△27.4	533	△70.4
2025年3月期第1四半期	19,261	11.3	622	—	806	—	1,799	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △721百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 2,411百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.88	—
2025年3月期第1四半期	90.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	120,431	56,020	48.0
2025年3月期	122,297	57,237	47.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 57,784百万円 2025年3月期 58,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	24.00	—	25.00	49.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	4.3	900	186.8	700	123.3	600	30.24
通期	85,000	5.9	2,800	164.7	2,400	180.7	1,800	90.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	20,652,400株	2025年3月期	20,652,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	813,611株	2025年3月期	813,611株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	19,838,789株	2025年3月期1Q	19,838,789株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続く一方で、世界経済は、一部の地域において足踏みがみられ、米国の通商政策等による景気の下振れリスク、中国における景気回復の遅れ、地政学リスクの高まりなどにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、最終年度を迎えた第5次中期5ヵ年経営実行計画「V-ACTION for sustainability」のもと、重点施策に取り組んでおります。「のぼす」ミッションに位置付けた光硬化型樹脂およびファインケミカル製品においては、生産能力増強が完了し、需要増に向けた量産化を推進しております。また、ライフサイエンス分野（ヘルスケア、アグリ、コスメ）での事業化に向け、松や微細藻類などの天然素材を活かした新規事業の展開にも注力しております。水素化石油樹脂につきましては、千葉アルコン製造株式会社の安定稼働を重要な全社課題と認識し、「アルコン特別委員会」を中心に課題解決に向けた体制を強化しております。

業績面では、スマートフォンの出荷台数の回復により、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂の販売は前年同期を上回り、ファインケミカル製品とハードディスク用精密研磨剤の販売は過去最高水準を維持しました。また、水素化石油樹脂については千葉アルコン製造株式会社の稼働率が改善しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は198億99百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は6億81百万円（同9.6%増）、為替差損等の影響により経常利益は5億85百万円（同27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上していた固定資産売却益等の影響がなくなったことから、5億33百万円（同70.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<機能性コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、電子部品などの需要が堅調に推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は、スマートフォンやディスプレイ関連分野での需要が回復し販売が増加しました。また、「そだてる」ミッションに位置付けている熱硬化型樹脂も新規採用や拡販により販売が増加しました。

その結果、売上高は44億74百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は5億61百万円（同30.7%増）となりました。

<製紙・環境事業>

製紙業界は、国内のみならず中国やアジア地域の市況が低迷する状況が続いており、厳しい需要環境となりました。このような環境のもと、当事業におきましては、板紙向け紙力増強剤などの販売が低調に推移しました。

その結果、売上高は49億4百万円（前年同期比7.7%減）、セグメント利益は3億14百万円（同46.1%減）となりました。

<粘接着・バイオマス事業>

粘着・接着剤業界は、自動車関連分野では米国関税政策の影響があり、テープやシート類用途では需要も弱含みとなりました。このような環境のもと、当事業におきましては、ロジン系の粘着・接着剤用樹脂はアジア地域を中心に販売が堅調に推移しました。また、水素化石油樹脂につきましては千葉アルコン製造株式会社の稼働率が改善し、安定供給に向け在庫の積み増しを進めております。

その結果、売上高は69億7百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント損失は2億74百万円（前年同期はセグメント損失4億93百万円）となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

電子工業業界は、電子部品などの需要の回復や生成AIの需要増加に伴うデータセンターへの投資が堅調に推移しております。このような環境のもと、当事業におきましては、半導体関連先端材料のファインケミカル製品や電子材料用配合製品の販売が増加しました。一方、ハードディスク用精密研磨剤や電子材料用配合製品はコストアップが売価に先行しており、また、増強した半導体関連先端材料用の新設備について減価償却費の計上を開始していることから、利益を押し下げました。

その結果、売上高は35億97百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は1億84百万円（同32.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億66百万円減少し、1,204億31百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が9億91百万円、有形固定資産が10億46百万円減少したことによります。

負債は、短期借入金が22億85百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が9億28百万円、賞与引当金が7億14百万円、長期借入金が7億13百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億48百万円減少し、644億11百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億17百万円減少し、560億20百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました業績予想に修正はありません。

(参考) 千葉アルコン製造株式会社の減価償却費

単位：百万円

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度（予想）	2026年度（予想）
1,043	2,315	1,954	約1,600	約1,400

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,431	9,104
受取手形及び売掛金	25,884	24,893
電子記録債権	2,258	2,181
商品及び製品	12,619	12,540
仕掛品	1,468	1,624
原材料及び貯蔵品	9,730	9,457
その他	997	1,441
貸倒引当金	△126	△116
流動資産合計	62,264	61,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,604	18,194
機械装置及び運搬具（純額）	13,487	12,772
土地	5,008	5,001
建設仮勘定	846	976
その他（純額）	1,092	1,046
有形固定資産合計	39,039	37,993
無形固定資産	1,374	1,266
投資その他の資産		
投資有価証券	10,105	10,609
退職給付に係る資産	7,392	7,487
繰延税金資産	288	213
その他	386	384
貸倒引当金	△86	△81
投資その他の資産合計	18,086	18,612
固定資産合計	58,500	57,872
繰延資産		
開業費	1,532	1,431
繰延資産合計	1,532	1,431
資産合計	122,297	120,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,200	8,272
電子記録債務	1,172	1,149
短期借入金	18,319	20,604
未払法人税等	774	430
未払消費税等	52	106
賞与引当金	1,370	656
役員賞与引当金	27	9
修繕引当金	820	521
事業整理損失引当金	56	55
資産除去債務	26	26
設備関係支払手形	104	84
その他	5,682	5,482
流動負債合計	37,608	37,397
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	11,061	10,348
繰延税金負債	4,161	4,453
退職給付に係る負債	259	262
資産除去債務	1,832	1,829
その他	135	120
固定負債合計	27,451	27,013
負債合計	65,060	64,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	40,619	40,656
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	46,315	46,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,384	4,720
為替換算調整勘定	4,671	3,701
退職給付に係る調整累計額	3,103	3,009
その他の包括利益累計額合計	12,159	11,431
非支配株主持分	△1,237	△1,764
純資産合計	57,237	56,020
負債純資産合計	122,297	120,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	19,261	19,899
売上原価	15,002	15,265
売上総利益	4,259	4,634
販売費及び一般管理費	3,637	3,952
営業利益	622	681
営業外収益		
受取利息	30	23
受取配当金	79	94
不動産賃貸料	13	14
為替差益	228	-
その他	45	68
営業外収益合計	397	201
営業外費用		
支払利息	96	112
為替差損	-	52
開業費償却	99	99
その他	17	32
営業外費用合計	213	296
経常利益	806	585
特別利益		
固定資産売却益	979	0
投資有価証券売却益	314	-
特別利益合計	1,293	0
特別損失		
固定資産除売却損	18	5
特別損失合計	18	5
税金等調整前四半期純利益	2,081	580
法人税、住民税及び事業税	370	163
法人税等調整額	326	256
法人税等合計	696	419
四半期純利益	1,384	160
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△414	△372
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,799	533

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,384	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	445	335
為替換算調整勘定	660	△1,124
退職給付に係る調整額	△79	△93
その他の包括利益合計	1,027	△881
四半期包括利益	2,411	△721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,770	△194
非支配株主に係る四半期包括利益	△358	△526

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,081	580
減価償却費	1,294	1,318
開業費償却額	99	99
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△574	△701
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	△18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5	3
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△83	△100
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△31	-
固定資産除売却損益 (△は益)	△960	5
投資有価証券売却損益 (△は益)	△314	-
受取利息及び受取配当金	△109	△117
支払利息	96	112
売上債権の増減額 (△は増加)	△690	570
棚卸資産の増減額 (△は増加)	677	△84
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,907	△791
未払消費税等の増減額 (△は減少)	214	142
その他	△121	△747
小計	△317	265
利息及び配当金の受取額	111	122
利息の支払額	△96	△131
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△162	△500
営業活動によるキャッシュ・フロー	△465	△244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	676	812
有形固定資産の取得による支出	△689	△890
有形固定資産の売却による収入	768	0
投資有価証券の取得による支出	△11	△12
投資有価証券の売却による収入	355	-
無形固定資産の取得による支出	△6	△9
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	3	△2
その他	△25	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,070	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△529	2,357
長期借入金の返済による支出	△875	△702
配当金の支払額	△476	△495
その他	△5	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,886	1,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	136	△120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,144	666
現金及び現金同等物の期首残高	9,164	6,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,020	7,100

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	18	19,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	7	7
計	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	25	19,269
セグメント利益又は損失(△)	429	583	△493	270	790	8	798

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	790
「その他」の区分の利益	8
全社費用の配賦差額(注) 1	89
コーポレート研究開発費用(注) 2	△93
営業外損益(注) 3	△172
四半期連結損益計算書の営業利益	622

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	15	19,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	6	6
計	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	22	19,906
セグメント利益又は損失(△)	561	314	△274	184	784	6	791

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	784
「その他」の区分の利益	6
全社費用の配賦差額(注) 1	80
コーポレート研究開発費用(注) 2	△119
営業外損益(注) 3	△71
四半期連結損益計算書の営業利益	681

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	3,271	2,857	2,692	2,120	10,942	18	10,961
中国	470	998	1,796	511	3,776	—	3,776
アジア(中国除く)	282	1,458	1,113	637	3,491	—	3,491
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	34	—	957	39	1,032	—	1,032
顧客との契約から生じる収益	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	18	19,261
外部顧客への売上高	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	18	19,261

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	3,543	2,790	2,684	2,343	11,362	15	11,377
中国	613	837	2,282	630	4,363	—	4,363
アジア(中国除く)	290	1,274	1,008	595	3,167	—	3,167
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	26	3	932	28	990	—	990
顧客との契約から生じる収益	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	15	19,899
外部顧客への売上高	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	15	19,899

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。